

## 関西医療大学 教養教育科目の編成方針

本学は、学則に定める教育目的を達成するため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）の三つの方針を体系的に策定しています。特にディプロマ・ポリシーにおいては、学生が卒業までに身につけるべき資質と能力（医療人基礎力）を以下のとおり明確に示し、地域医療の現場で十分に力を発揮し活躍できる医療人の育成を実践しています。

1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている
2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる
3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている
4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる

この方針を実現するため、本学の各学科は教育課程の編成・実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を策定し、それぞれの専門分野の修得を目指した特色ある教育を展開しています。また、医療人に求められる人間性の涵養や資格取得に必要な専門知識・技術の基盤となる思考力、生命倫理は学科を超えて共通する要素です。そのため、本学では「総合教育科目」として学科横断的なカリキュラムを編成し、包括的な教養教育を実践しています。

はり灸・スポーツトレーナー学科、理学療法学科、作業療法学科、ヘルスプロモーション整備学科で開講する「大学入門セミナー」、臨床検査学科、保健看護学科で開講する「東洋医療の基礎・導入教育」は、ともに東洋医療における全人的医療思想の理解を深め、加えて本学学生が自ら学修する姿勢や学修の基本スキルを修得するための初年次教育科目として位置付け、大学における「学修者本位の教育」へと質的転換を図るための必修科目としています。また、「広く一般教養を高めるとともに、高い倫理観を養成（学則第1条）」するため、各学科の教育課程の中に「科学的思考の基盤」「人間と生活」「言語とコミュニケーション」の分野を設け、下記の方針に沿って「医療人基礎力」を身につけるための自然科学系科目、人文科学系及び社会科学系科目に関する教育を実践しています。

### <科学的思考の基盤>

当分野には、人体の構造と機能を学ぶ上で必要となる自然科学の基礎的知識の修得と、これからの医療現場で必須となる数理的思考（情報処理、統計処理能力等）の修得を目指す科目を配置して、論理的かつ科学的な思考で問題を発見し、解決できる能力を養います。

### <人間と生活>

当分野には、現代社会において心身共に健康に生活していく上で必要となる知見の修得を目指す科目を配置して、医療人に求められる倫理観の涵養ならびに多様性を尊重することができる人間性の発展を促します。

### <言語とコミュニケーション>

当分野には、現代人とし国際性を高めることに力点を置いた科目、また、他者とのコミュニケーションを円滑に図る能力を修得するための科目を配置し、多文化に対する理解並び

に医療人として患者の症状を的確に把握し、治療効率を高めるほか同僚や他の医療スタッフとも良好な関係を築くことができる能力の修得を目指します。

各学科には、それぞれ専門性の異なる医療資格に関する学びが求められるため、教養教育においても学科の特色に応じて「より深い専門知識と技術（学則第1条）」を修得できる科目を配置し、専門教育の基盤となる思考力を身につけられるよう、次の工夫を取り入れています。

（教養教育の科目及び教育上の工夫）

- ・「大学入門セミナー」、「東洋医療の基礎・導入教育」では、全人的視野に立つ東洋医療への基礎的理解を深め、各学科の専門教育との関連性に応じて教育内容を工夫しています。また、大学生としての学修の基礎となるスキルの修得に関しては学科間で共通性をもたせ、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどのアクティブ・ラーニングの教育手法を導入して実施します。
- ・＜科学的思考の基盤＞は、はり灸・スポーツトレーナー学科、理学療法学科、作業療法学科、ヘルスプロモーション整復学科では「情報科学Ⅰ」と「情報科学Ⅱ」、臨床検査学科は「生命のしくみ」と「生命の化学」を必修科目とします。
- ・＜人間と生活＞は、幅広い領域の科目を取り入れることが可能な分野ですが、科目名や開講期間等の設定に際しては、入学前取得単位の認定や他大学との単位互換等を考慮します。
- ・＜言語とコミュニケーション＞分野で開講されている外国語科目の一部については、学科の枠組みを超えた編成のもとで実施します。
- ・外国語は、はり灸・スポーツトレーナー学科、ヘルスプロモーション整復学科、臨床検査学科では2か国語（英語、中国語）を実施します。特に、はり灸・スポーツトレーナー学科では学科の特性上、中国語を重視します。
- ・理学療法学科、作業療法学科、保健看護学科では、「手話」を取り入れます。
- ・臨床検査学科の「医学英語」は、学科の特性を鑑み、他学科の「医療英語」に統一することなく現行の科目名を維持します。

（令和7年4月1日改定）